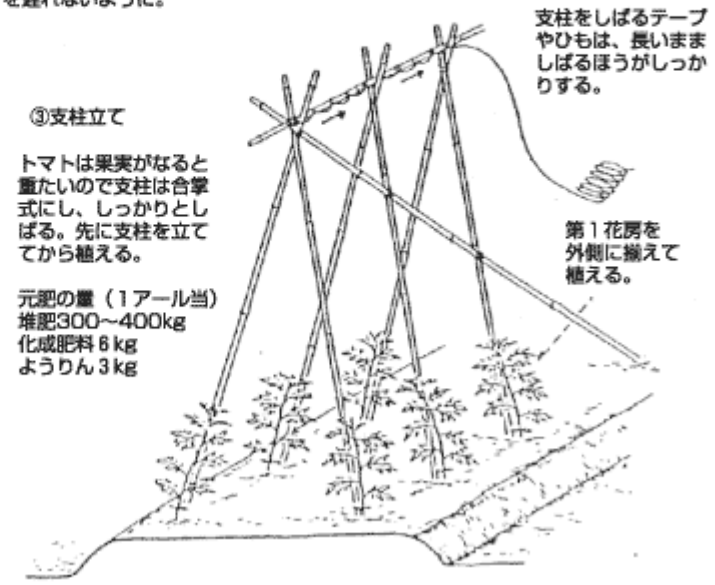
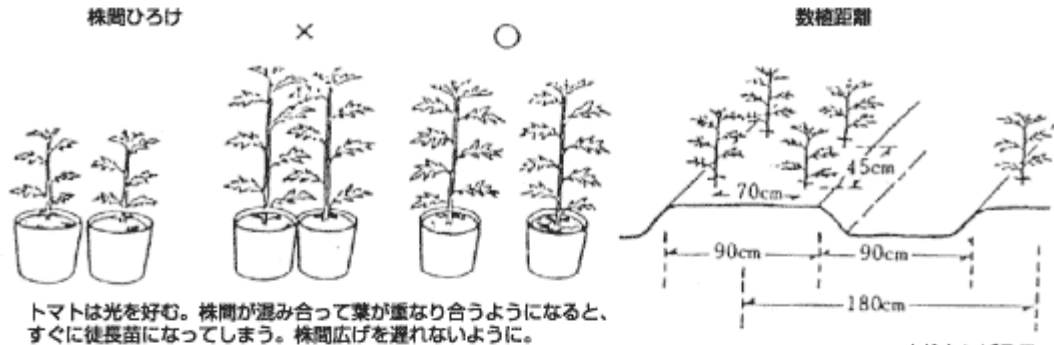
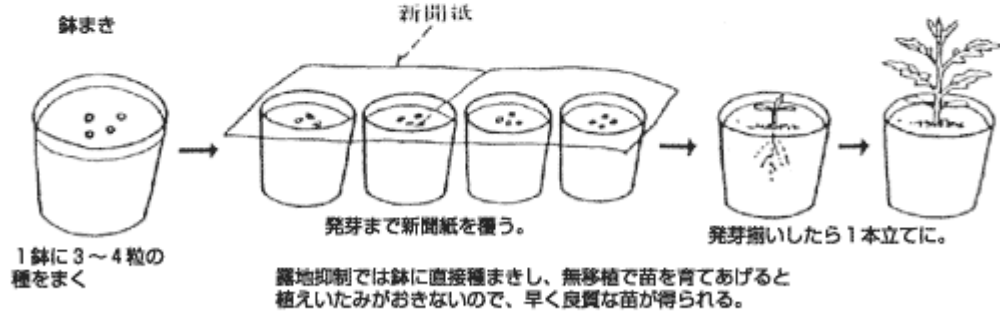
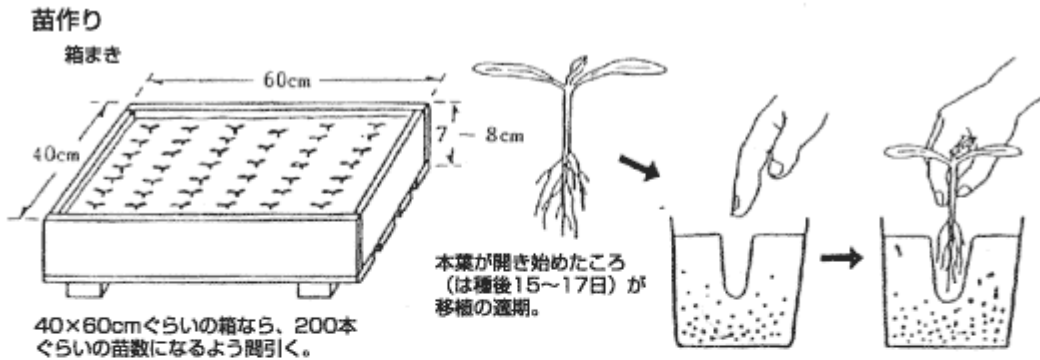


トマトの栽培方法

高温性の野菜であるが、ナスやピーマンよりは低温に耐える。
光を好むので、日当たりの良い畑を選ぶ。



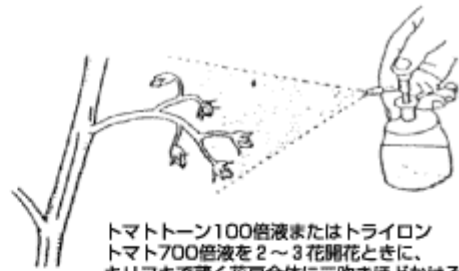
④誘因と整枝



8の字型にしぼる。

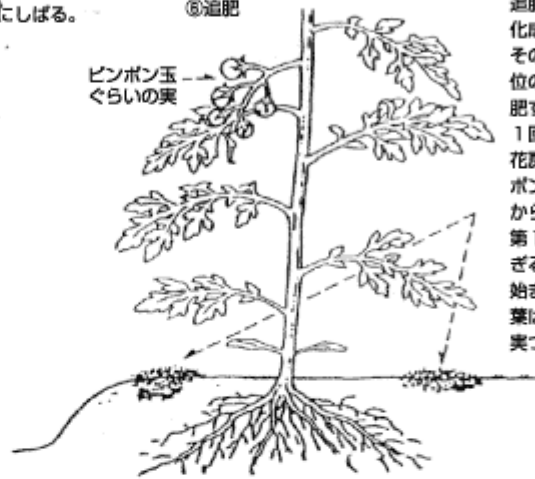
普通の品種は本葉8~9枚で第1花房、以後3枚おきに次の花房がつく。

⑤ホルモン散布



トマトーン100倍液またはトライロン トマト700倍液を2~3花開花ときに、キリフキで薄く花房全体に二吹きほどかける。

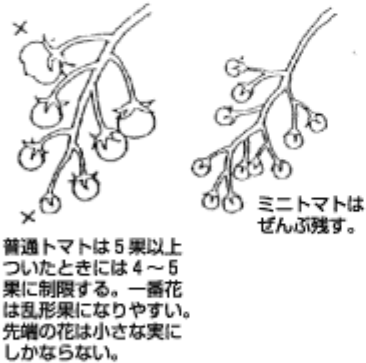
⑥追肥



ピンポン玉 ぐらいの実

追肥の量 1アール 化成肥料6~8kg
その後20日に1回位の割合で3回位追肥する。
1回めの追肥は第1花房の一番花がピンポン玉大に肥大してから。
第1回の追肥が早すぎると果実の肥大が始まらないうちに茎葉ばかり伸びるので実つきが悪くなる。

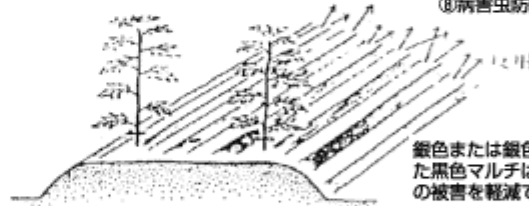
⑦摘果



普通トマトは5果以上ついたときには4~5果に制限する。一番花は乱形果になりやすい。先端の花は小さな実にしかならない。

ミニトマトはぜんぶ残す。

⑧病虫害防除



銀色または銀色の線の入った黒色マルチはアブラムシの被害を軽減できる。



わき芽かきは指先でつまんで折るよう取る。爪先で切ったりハサミを用いたりすると汁液を伝えるのでウイルスが伝染しやすい。



アブラムシ マラソン乳剤 1500倍

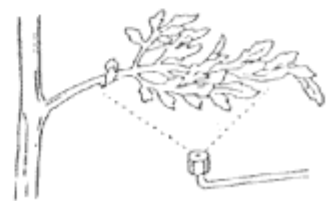
疫病 ダイセン水と剤 400~600倍



灰くされ果や灰色かびのついた果実は摘花する。



梅雨時に多い疫病 ジャガイモと共通な近くであればその方へも薬剤散布を。



薬剤散布は葉裏から入念に。ただし薬液がしたり落ちるようでは付着しない。